

運 営  
2008年度

# 1. 技術 部

## (1) 野菜・花き部門

平成20年度における野菜・花卉部の耕種と生産概要を第1表に示した。第2表に圃場の作付け概要を示した。年間を通じての実習効果や栽培管理を考慮して、本年度も基本的には夏作の果菜類，秋冬作の葉菜類，根菜類及び施設栽培を組み合わせた作付け体系を継承した。

### 1) 果菜類

施設栽培では汎用温室C棟（440m<sup>2</sup>）で「らくち

ん方式・高設養液栽培」によるイチゴ栽培を行なった。イチゴは2品種「女峰」と「さちのか」を栽培した。二酸化炭素発生装置を設置することで生育良好であった。病害虫はダニとうどんこ病が発生したが初期防除をすれば防止できると思われる。ダニ防除では，防除サイクルに天敵を利用したことにより，防除労力の軽減に繋がった。また，イチゴの手入れは定植後から二月初旬まで学生実習で行った。

トマト栽培は汎用温室B棟（440m<sup>2</sup>）で行った。

第1表 平成20年度における野菜・花卉の耕種・生産概要

作 目	品 種	面積(a)	収量(kg)	売払金額(円)
トマト	桃太郎ファイト他	4.4	3529	1,668,570
ナス	築陽・丸・水	1.8	1179	303,743
イチゴ	女峰	2.2	502	539,650
イチゴ	さちのか	2.2	470	498,266
ピーマン	京鈴・甘とう美人	0.9	360	186,999
キュウリ	夏すずみ	0.5	353	73,991
インゲンマメ	ツルなしモロッコ	1.2	99	65,822
スイカ	夏武輝	5.4	775	77,480
ソラマメ	打越一寸	3	314	152,933
エダマメ	宝石 他	4.2	1055	256,489
ハクサイ	黄こころ	3.6	1931	172,977
カボチャ	えびす・隼人・利休	7	1091	87,032
タマネギ(白)	ソニック・他	8	2613	273,697
タマネギ(赤)	猩々赤	0.6	587	84,640
サトイモ	エグイモ・石川早生	10	391	105,110
ダイコン	大師・四月早生・関白	3.6	2041	213,693
コマツナ	浜美2号	2	184	66,177
ハウレンソウ	リード 他	10	1335	437,031
ミズナ	京みぞれ 他	3	475	109,022
ニンジン	向陽2号 他	5.4	1416	287,504
コカブ	ひかり	0.8	209	57,225
カンラン	彩里・マルシェ	7.7	4079	924,067
パレイショ	デジマ・男爵・メイクイーン	13	1843	324,708
露地キク	美林 他	3	2634本	161,808
電照キク	セイスナップ	1.4	220本	15,984
電照キク	ローズ舞風車	0.5	291本	20,868
電照キク	黄金・心 他	0.5	990本	62,620

第2表 圃場別作付け概要

	春 作	秋 作		春 作	秋 作
南1号	ニンジン ソラマメ パレイショ サツマイモ	ハウレンソウ エン麦 パレイショ サツマイモ	西1号	エダマメ トウモロコシ	ネギ エン麦
南2号	タマネギ レタス ハウレンソウ	キャベツ ブロッコリー カリフラワー ハボタン ハクサイ	西2号	スイカ マクワウリ メロン カボチャ ナス ピーマン キュウリ	ネギ ニンニク タマネギ
南ハウス	コマツナ チンゲンサイ ネギ コカブ	電照キク	西3号	トウモロコシ サトイモ キク	ダイコン サトイモ ニンジン キク
南温室	ハウレンソウ カラシナ	カーネーション(切り花) ストック(切り花) キンギョソウ(切り花) スターチス(切り花)	西4号	サツマイモ エン麦	サツマイモ エン麦
温室A	育苗苗 メロン		西5号	ヒマワリ	ソラマメ
温室B	トマト		西ハウス1号	ニラ	ニラ
温室C	イチゴ		西ハウス2号	エダマメ	ニラ
			西ハウス3号	エンサイ・ツルムラサキ	コマツナ 他
			西ハウス4号	トウモロコシ	シュンギク

春作，秋作共に大玉の‘桃太郎ファイト’と中玉の‘シンディースイート’の2品種で行った。秋作の‘シンディースイート’は，7月中旬に挿し芽で増殖した。病害虫はラノーテープの効果と早期予防で防除が出来た。

今後の課題としては，管理の省力化を考慮した上で他作物との労力配分を検討したい。

ナスは4月22日に学生実習で定植を行なった。ナスの誘引方法は4本仕立てで行なった。4品種（長者・千両・加茂ナス，くろわし）を栽培した。苗は接木苗を使用したこと，隣地で緑肥用ソルゴーの栽培を行ったこと等で病害虫の防止効果が得られ，ほとんど薬剤散布をすることなく生産ができた。

ピーマンは4品種（京鈴・伏見甘長・レッドホルン・甘とう美人）の栽培を行った。全体に初期生育の不良で収穫が遅れた。

スイカは，3月6日に播種，3月21日に接ぎを行った。4本仕立ての整枝を行ない，栽培管理は学生実習主体で定植から敷き藁・整枝・収穫を行なった。

カボチャも4月22日に学生実習で定植を行い，摘心，摘花，収穫等も学生実習で行った。

スイートコーンは，2月15日播種，2月22日定植でハウス栽培を試みたが，寒さで初期生育がかなり遅れた。

また温室でプランターを使用したメロンの養液栽培を行った。春作は‘アールスメロン 2’しらかばグリーン‘マープル’の3品種。全体的に収穫量は少なかった。問題点として，プランター1つに2株植えたことで，プランターの排水穴を根がふさいでしまい，根腐れになったこと。また，コナジラミが発生し生育に影響がでた。秋作は，すべてアールスメロンを栽培した。前回の反省を元に，底に多

第3表 野菜・花き部門の各品目の防除履歴

イチゴ防除履歴

月 日	薬品名	倍率	備 考
2月8日	ベルコート	4000	
4月18日	スパイデックス		天敵農薬
6月23日	サンヨール	500	
6月30日	トップジンM	1000	
	マラソン	2000	
7月11日	チェス	3000	
7月31日	セイビア	1000	
	マラソン	2000	
8月8日	アミスター	1500	
8月20日	アフアーム	2000	
	オーソサイド	800	
9月8日	ジマンダイセン	600	
9月17日	ジマンダイセン	600	
10月15日	サンヨール	500	
11月5日	マラソン	2000	
	ベルコート	4000	
11月21日	バロック	2000	

トマト防除履歴

月 日	薬品名	倍率	備 考
2月8日	トップジンM	1500	春作
2月28日	アトマイヤー粒剤	1 $\frac{1}{2}$ g/鉢	
3月6日	ダコニール	1000	
7月31日	セイビア	1000	秋作
	マラソン	2000	
8月18日	プレオ	1000	
10月3日	サンヨール	500	
10月31日	モレスタン	1500	

ハクサイ防除履歴

月 日	薬品名	倍率	備 考
9月25日	アフアーム	2000	
10月2日	アディオン	2000	
10月10日	ランネート	2000	
10月15日	アディオン	2000	
10月24日	トレボン	2000	
10月24日	アミスター	2000	
10月30日	アミスター	2000	

数の穴が空いている物にし、プランター1つに1株の定植を行った。しかし、夏場の育苗と温度管理、コナジラミに煩い、秋も収穫量は少なかった。

2) 葉菜類

ハクサイは早生・晩生を3回に分けてセル苗による移植栽培を行なった。早生品種は生育が遅れ、収穫が晩生と重なってしまった。晩生は学生実習で、

メロン防除履歴

月 日	薬品名	倍率	備 考
4月25日	ダコニール	1000	
5月15日	ジマンダイセン	500	
6月9日	オーソサイド	800	
6月23日	アミスター	2000	
	スミチオン	1000	
7月8日	ダニトロン	1000	
9月11日	ベストガード粒剤		1 $\frac{1}{2}$ g/株
9月17日	ジマンダイセン	500	
10月22日	アミスター	2000	
	カスケード	2000	
	アタブロン	2000	

ナス防除履歴

月 日	薬品名	倍率	備 考
2月8日	トップジンM	1500	
8月18日	アフアーム	2000	
9月12日	アミスター	2000	
9月22日	アフアーム	2000	

タマネギ防除履歴

月 日	薬品名	倍率	備 考
2月28日	ランマン	2000	
3月6日	ダコニール	1000	
3月28日	ダコニール	1000	
4月2日	エルサン	1000	

キャベツ防除履歴

月 日	薬品名	倍率	備 考
4月2日	エルサン	1000	
4月28日	アタブロン	2000	
4月28日	カスケード	4000	
4月28日	ダコニール	1000	
8月18日	アフアーム	2000	
9月22日	アフアーム	2000	
10月2日	アディオン	2000	
10月10日	ランネート	2000	
10月15日	アディオン	2000	
10月24日	トレボン	2000	
10月24日	アミスター	2000	

ハクサイの頭をくくり霜よけを行った。

チンゲンサイ・コマツナ・コカブは電照キクの後地を利用してハウス栽培を行なった。無加温で栽培ができ、病害虫の発生もなく好結果が得られた。来年度も継承したい。

タマネギは条播を行なった。移植後は土壌処理剤で雑草を抑えた。葉菜では主力作目であり5品種を選定した。極早生と赤タマネギ3畦はマルチ栽培を

行なった。学生実習でも収穫と移植を行なった。

### 3) 根菜類

サツマイモは、'ベニアズマ'を合計9000本定植した。

4月23日に3000本を定植。5月27日に学生実習で3000本。そして6月17日に1作目の苗(4月23日定植分)から苗取りを行い、学生実習で定植を行った。

サツマイモは、近辺の幼稚園、小学校等の芋掘りに供し、好評を得た。

ニンジン、春作を3アール、秋作を2.4アールの作付けを行った。学生実習で播種から収穫まで行った。

### 4) 花き

露地キクは主に冬至芽の移植栽培を行なっているが、移植時期が遅れると短茎で切り花として収穫が

不能となることから3月下旬から4月上旬には冬至芽の移植を行ないたい。

電照キクは夏期に土壤消毒を行なうことで雑草を押さえることが出来た。全体に長茎になっていることから移植後の温度管理に注意を払いたい。アブラムシの早期発見と駆除が必要と思われる。

年間の学生実習に添った作付け計画を設定し、作物栽培の作付け体系を充実することで安定生産が計れたと思われる。作物の作付けは緑肥栽培を組み入れた輪作体系を図り土地の有効利用に努めた。また、土作りとして馬術部から馬糞、動物実験室より家畜糞、果樹部より剪定木のチップを引き取り、堆肥作りを行っている。

(山奥 隆, 宮地大介)

## (2) 水田部門

平成20年度の乾田直播栽培は、昨年と同じく5月中旬頃から播種を開始したが、降水量が適度にあり出芽も良好で生育は順調であった。移植栽培は苗箱へ5月中旬に播種し、苗の生育は順調に進み、岡山水田、八浜水田共に田植えも平年並みに行え、活着も比較的順調であった。今年の梅雨は比較的短くて7月中旬からは晴天が続き昨年同様の猛暑となった。登熟期は台風の襲来もなく8月同様に晴天傾向で推移した。また、病害虫警報としてカメムシの大発生警報があったが大きな被害はみられなかった。単収は中生品種より晩生品種の方が高い結果となった。しかし中生品種、晩生品種ともに稈長が長くなっており登熟期に台風の襲来があれば完全に倒伏して大幅な減収になっていたと思われる。水稻の作柄、作況指数は全国平均が552kg/10a「105」、岡山県は530kg/10a、「102」であった。

岡山水田は栽培品種を「あきまさり」に統一し、

1号水田はガイダンス科目総合農業科学入門で一年次生全員による手植え移植とし、2号水田は田植え機を用いて成苗(葉齢5~5.5)を移植栽培した。(一部で津島小学校生徒による田植え、稲刈りを行った。)また、3号水田では、修士・卒業論文作成のための試験が行われ、多くの研究成果が報告された。八浜水田は1号2号3号4号5号6号水田で直播栽培し、1号6号水田に成苗(葉齢5~5.5)を用いた移植栽培とした。中生品種のヒノヒカリと晩生品種のアケボノを栽培して作業の分散を図った。また、カキ殻の多い場所では秋落ちしやすい傾向がみられたため、水田の一部に追肥を行った。

本農場の水稻収量はアケボノ632kg/10a、ヒノヒカリ546kg/10a、あきまさり567kg/10a、平均581kg/10aとなり、昨年(480kg/10a)に比べて増収した。

(多田正人)

第1表 栽培面積

作目	栽培様式	品種	栽培圃場及び面積(a)	合計(a)
水稻	移植	あきまさり	1号(40)	40
	移植	あきまさり	2号(64)	64
	試験研究用		3号(5, 研究室・未収穫)	-
八浜水田				
水稻	移植	アケボノ	1号(211)2号(143)	354
	直播	あきまさり	2号(15)	15
	直播	ヒノヒカリ	1号(70)3号(69)4号(81)	378
			5号(104)6号(54)	
	移植	ヒノヒカリ	5号(30)	30

第2表 栽培の概要

作目	栽培様式	品種	播種・移植期	播種量 kg/10a	施肥量(kg/10a)			収穫期	
					種類	N	P <sub>2</sub> O		K <sub>2</sub> O
岡山水田									
水稻	移植	あきまさり	5/13・6/6~9	1.3	LPE80	7~10	7	7	10/28~10/30
八浜水田									
水稻	直播	アケボノ	5/27~5/28	6.5	LPE80	7~11	7	7	10/21~11/4
	直播	あきまさり	5/28	6.5	LPE80	7~11	7	7	10/24
	直播	ヒノヒカリ	5/19~5/23	9.0	ハイLP	10~14	6	7	10/2~10/18
	移植	アケボノ	5/14・6/19~26	1.3	LPE80	7~10	7	7	11/4~11/6

第3表 水稲防除作業内容

	薬品名	圃場名(号田)	使用量(/10a)	月/日	
八浜水田					
除草剤	トレファノサイド乳剤	1, 3, 4, 5	247c	5/23	
	シャドー水和剤	1, 2, 3, 4, 5, 6	117g	5/30~6/10	
	サキドリEW	1	380cc	6/18~6/23	
	サラブレッドRX	1, 2, 3, 4, 5, 6	500cc	6/23~6/27	
	クリンチャー乳剤	"	77cc	6/9	
	クリンチャー乳剤	"	77cc	6/10	
	殺虫・殺菌剤	アドマイヤー顆粒	"	25g	5/19~5/28
ロムダンゾル		1, 2, 3, 4, 5, 6	96cc	7/30~8/7	
モンカットフロアブル		"	96cc	7/30~8/7	
スタークル顆粒		"	30g	7/30~8/7	
ブラシフフロアブル		"	94cc	8/21~9/4	
ロムダンゾル		"	94cc	8/21~9/4	
モンカットフロアブル		"	94cc	8/21~9/4	
トレボンEW		"	94cc	8/21~9/4	
岡山水田					
除草剤		サラブレッドRX	1, 2, 3	500cc	6/12~6/17
	サキドリEW	"	500cc	6/4~6/5	
殺虫・殺菌剤	ロムダンゾル	"	96cc	7/29	
	モンカットフロアブル	"	96cc	7/29	
	アプロードフロアブル	"	96cc	7/29	
	カスラブサイドゾル	"	97cc	8/26	
	ロムダンゾル	"	97cc	8/26	
	モンカットフロアブル	"	97cc	8/26	
	トレボンEW	"	97cc	8/26	

### (3) 果樹部門

平成20年の担当圃場面積は、岡山農場161.9a（露地103.6a，雨よけハウス51.8a，ガラス室6.5a）および本島農場49a（すべて露地）であった。

平成20年1月から12月までの岡山農場における生産実績を第1表に，本島農場における生産実績を第2表に示した。また，作目ごとの薬剤防除履歴および植物成長調節剤使用履歴を第3表から第14表に示した。

#### モモ

春先の気温が低く，開花が1週間程度遅れた。花粉のない‘川中島白桃’と‘白桃’では，今年から他品種の花で直接受粉するのをやめて，葯を集めて花粉を採取し，人工授粉した。

6月・7月には晴天日が多く，特に6月30日から7月27日までの約1ヶ月間は連日最高気温が32～35度の日が続いた。この28日間の降水量は合計15mmであった。新梢の生育が衰えて葉がしおれ始めたため，4号園では移動式スプリンクラーを設置して適宜灌水に努めた。‘あかつき’と‘紅清水’では大きな影響は出なかったが，‘清水白桃’では，果実の成熟期が1週間程度遅れた。

5月の袋掛け直後から園内に防鳥用の爆音機を設置したため，カラスによる果実への加害は減少した。今年も交信攪乱剤を使用した。‘ゴールデンピーチ’ではシンクイムシ類の発生が多かった。また，‘清水白桃’と‘秀峰’ではヤガによる果実の吸汁害が目立った。

収穫期に好天が続いたため，いずれの品種も果実の食味は良く，Brix13度以上のものが多かった。降水量が少なかったため‘ゴールデンピーチ’では例年よりも若干小玉傾向であったが，灌水の効果もあって，‘あかつき’と‘紅清水’では300g前後の果実が多く，‘ゴールデンピーチ’の渋みも少なかった。

中生品種に偏った構成を見直すために導入した‘日川白鳳’は今年初めて収穫した。収穫期間は6月27日～7月4日で，中生品種の収穫期間と重ならなかった。‘清水白桃’以降に成熟する品種では，‘白麗’は生理的落果が多く，‘川中島白桃’は400g近い大玉が多かった。収穫期間は8月上旬～中旬で，

‘清水白桃’の収穫期間と一部重なった。

一昨年から養成していた接ぎ木苗を3月に販売し，残った苗木の一部13本を実習用に1号園に株間50cmで定植した。

#### ブドウ

作業が集中する5，6月の労力不足から十分な管理ができなかった。夏季の高温と着果過多による果実着色の不良が‘ピオーネ’などで引き続き問題となった。販路を広げるなど販売方法にもさまざまな工夫をこらしたが，販売能力に対して全体的に過剰生産気味で，前年に生産した果実を年をまたいで販売するほどであった。

毎年冬季に粗皮剥ぎ作業を行っているが，手作業に頼る部分が多いため全樹を処理することはできず，今年もコナカイガラムシの発生が見られた。また，12月6～8日の-2の低温で，3号園では例年よりも早く完全落葉し，ハウスに残っていた‘ピオーネ’と‘ヒロハンプルグ’が穂軸の凍結や脱粒などの凍害を受けた。‘ピオーネ’はこれらの被害が甚大で，販売量が大幅に減少した。

3号園では，‘マスカット・ベリーA’3本と‘巨峰’2本を1月に伐採した一方，欠株となっていた‘オーロラブラック’2本を12月に補植した。大温室では‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’1本が夏に枯死したため，新しい苗木を12月に植え付けた。

老朽化したジベレリン処理に用いるジベスプレーを，コンプレッサー式のものから乾電池式のものに更新した。3号園では，連棟ハウスの張り替えと同時に雨漏りの激しかった樋を交換し，防草のため，法面の一部に赤クローバーを播種した。

‘藤稔’は摘粒作業が間に合わず裂皮する果粒もあったが，1房600g程度の見栄えの良い果実が多く生産でき，着色も良く，天満屋での販売でも好評であった。しかし，収穫後半の9月下旬になると，白綿病に侵される果実や，過熟となる果実の割合が増加した。

‘マスカット・ベリーA’は栽植本数を減らしたこともあって，ハサミで摘粒することができた。



果房の大きさ・締まりも適当で、着色良く、Brix20～22度で食味も良かった。

‘デラウェア’は適期に1回目ジベレリン処理ができず、樹によっては種ありとなる果実が多かった。‘アーリー・スチューベン’はBrix20度程度と食味が良く、白綿病も少なかった。‘ハニーシードレス’は昨年よりも収穫時期を早めたため、芳香があり、好評であった。育成中の‘オーロラブラック’には10果房のみ着生させたが、果皮の着色が良く、Brixは20度程度であった。

‘瀬戸ジャイアンツ’は今年もジベレリン処理に失敗し、花ぶるいして結実率が低かった。‘ゴルビー’は果粒の肥大が旺盛で、穂軸が裂けたり果粒が裂果したりする果房が多かった。‘巨峰’は調整時に落とす粒が多く、房の締まりが良くなかったため、‘ピオーネ’とともに、粒での販売も試みた。

ガラス室では、‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’は連日の高温と強烈な日射で縮果病の発生が多かった。大温室では、天窓の隙間からスズメが侵入して成熟期の果実をつつく被害が見られたため、‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’では袋掛けを行い、‘グローコールマン’では柵の上下に防鳥糸を取り付けた。

ガラス室ブドウの品質は加温・無加温とも例年並みであった。‘マスカット・オブ・アレキサンドリア’は今年も天満屋での販売が好評で、大阪市内の百貨店にも90房を出荷した。‘グローコールマン’は11月に果房近くの葉を摘んだため、例年よりも果皮の着色が良かった。

## カキ

ほとんどの品種で販売量が昨年よりも上回り、特に、‘松本早生富有’と‘西条’では昨年の上回りの販売量であった。空梅雨と夏の高温・乾燥の影響で果実の肥大が悪く、例年よりも灌水開始時期を早めたにもかかわらず、‘西条’では7月にかなりの早期落葉が認められた。また、秋の気温変動が例年よりも急激で、11月下旬の低温(最低1 )では、それまで健全であった葉までもが一気に落葉し、12月初頭の低温(最低-2 )では、樹上に果実が残っていた‘富有’、‘愛宕’および‘かずさ’が凍害を受け、特に‘富有’と‘かずさ’では大量の果実

が販売不能となった。

‘富有’と‘松本早生富有’では隔年結果傾向が顕著で、今年には表年にあたるため結実数が多かった。乾燥と摘果不足の影響で200g前後の小玉が中心であったが、樹によっては300g級の大玉生産ができた。Brixは19度程度と食味は良かった。

‘西条’は例年よりも果皮の黒変が多く、1果120～130g中心で小玉傾向であった。Brixは19度前後で、食味は例年並みであった。‘西村早生’は花数が少なく、着果量が少なかった。‘愛宕’は脱渋せず、干し柿用として渋果のまま全て販売した。

いずれの品種も、防鳥糸と爆音機の設置で鳥害はほとんどなかった。

## キウイフルーツ

着花数が多く、結実率も高かった。特に‘香緑’は結実数が極めて多く、摘果作業を数回行っても十分に着果数を制限することができなかった。夏の乾燥と高温の影響で葉のしおれが頻繁に発生し、その都度灌水に努めた。11月中旬から収穫を開始したが、12月初頭の低温で、一部樹上に残っていた‘香緑’の果実が凍害を受け、追熟不能となった。

‘香緑’を中心に摘果が不十分であった樹ではフルメット処理をしても小玉が多かったが、‘ヘイワード’では天満屋に出荷できる140g前後の果実も多かった。食味は例年並みであった。

収穫量は昨年よりも多く、すべて冷蔵保存し、販売可能量をみながら随時追熟して販売した。保存した果実は来年春頃まで販売する予定である。なお、前年産果実は5月初めまで販売した。

## その他の果樹(岡山農場)

リンゴは順調に生育した。剪定後の枝の水平誘引を徹底したので、花芽の着生が良く、コンパクトな樹形に維持された。果実の生産量は徐々に増えたが、夏季の高温のため、‘つがる’では成熟時期が昨年よりも早まり、果肉の軟化や内部褐変が多く発生した。

ウンシュウミカンには、‘宮本早生’1本が枯死したほかはおおむね順調に生育した。‘興津早生’と‘いしじ’では、近接して果実が着生している場所を除いてほとんど摘果を行なわなかった。‘興津早生’は‘いしじ’よりも樹の生育が早く、3倍程度

の果実が着果した。両品種とも大玉となりすぎる果実が多かったが、本島農場産のウンシュウミカンが終了した後、来年1月に収穫する予定である。樹の生育が遅い極早生品種にも少数の果実をならせたが、大玉になりすぎ、食味も不良であったため販売は控えた。

2号園雨よけハウス内で栽培していた研究室実験用のブドウを3月に撤去し、跡地にレモン（リスボン）を9本定植した。苗木の生育はおおむね順調であったが、一部の樹では葉の黄化など樹勢の低下が認められた。

ビワは一部の樹で4月に摘果と袋掛けを行った。収穫前に降雨が多く、裂果が多発したが、袋掛けを行った果実は裂果が少なかった。ウメは病害虫が少なく高品質であった。近年販売所での売れ行きが低下しており、原料用に酒造会社にも販売した。スモ

モは裏年にあたり生産量が少なかった。2号園雨よけハウス内で栽培していたプルーンは、夏の高温のため枯死した。

#### カンキツ類（本島農場）

連年の記録的な少雨に加えて、貯水タンクの破損により圃場への散水が満足にできない状態となった。各種類とも衰弱したり枯死する樹が目立つようになり、生産した果実も肥大や外観が劣るものが多かった。

ウンシュウミカンは昨年よりもM・L玉が多く、生産量も多かったが、外観はあまり良くなかった。甘夏は3月に収穫して8月まで販売した。生産量は昨年よりも少なかった。

（近藤毅典・酒井富美子・山本 昭）

第1表 平成20年果樹部門生産概要(岡山農場)

種 類	品 種 等	面積(a)	販売数量(kg)	収入金額(円)
モモ	あかつき	4.0	1,178	593,596
	紅清水	7.2	1,122	565,141
	清水白桃	10.7	808	725,001
	ゴールデンピーチ	4.0	933	466,837
	川中島白桃	1.4	183	102,300
	白鳳	3.3	206	82,400
	その他品種	10.4	206	95,750
	接ぎ木苗	0.3	33本	13,100
ブドウ (雨よけハウス)	藤稔	6.7	1,804	1,134,651
	ピオーネ	6.2	496	297,256
	巨峰	3.8	511	191,841
	マスカット・ベリーA	5.3	1,130	468,511
	ヒロハンプルグ	1.4	290	108,190
	アーリー・スチューベン	1.9	451	171,577
	ネオ・マスカット	1.0	362	174,299
	デラウェア	1.9	189	75,600
	安芸クイーン	0.8	46	28,740
	瀬戸ジャイアンツ	0.5	52	32,170
	翠峰	1.0	62	38,568
	その他品種	4.4	229	134,620
ブドウ (ガラス室)	マスカット・オブ・アレキサンドリア	4.9	666	797,885
	グロー・コールマン	0.8	249	96,585
カキ	富有	5.1	309	46,971
	松本早生富有	3.5	490	97,844
	平核無	3.5	696	110,642
	西条	3.5	725	123,992
	愛宕	6.2	1,668	205,117
	その他品種	2.0	154	23,360
キウイフルーツ		7.4	1,812	508,922
リンゴ		7.5	205	66,240
ウメ		4.2	321	122,510
ビワ		3.1	233	93,200
スモモ		2.2	38	22,500
ウンシュウミカン		4.0	0	0

第2表 平成20年果樹部門生産概要(本島農場)

種 類	販売数量(kg)	収入金額(円)
ウンシュウミカン	3,198	607,447
甘夏	3,741	589,536
イヨカン	843	170,071
その他	1,704	275,344

第3表 モモの薬剤防除履歴（平成20年）

月/日	薬品名	倍率等	備考
3/7	石灰硫黄合剤	7	
3/21	カスミンボルドー水和剤	500	
"	ラウンドアップハイロード	100	
3/24 ,26 ,28	コンフューザーMM	420本/20.9a	
4/7	ロブラール水和剤	1200	
4/21	ビスダイセン水和剤	500	
"	アディオン乳剤	2000	
4/30	スペックス水和剤	500	
"	スタークル顆粒水溶剤	2000	
5/8	ベルコート水和剤	2000	
"	バリダシン液剤5	500	
"	ダイアジノン水和剤	1000	
5/21	スペックス水和剤	500	
"	ノーモルト乳剤	2000	
5/26	トップジンM水和剤	1500	一部のみ
"	モスピラン水溶剤	2000	一部のみ
5/26 ,27 ,29 ,6/3	ベルコート水和剤	2000	
"	ダーズバンDF	3000	
6/5 ,9 ,11 ,12	ストロビードライフフロアブル	2000	4号園のみ
"	ロディー乳剤	2000	4号園のみ
6/25	オンリーワンフロアブル	2000	4号園のみ
"	アルバリン顆粒水溶剤	2000	4号園のみ
7/8	ダイアジノン水和剤	1000	
"	マイトコーネフロアブル	1000	
"	オリオン水和剤	1000	一部のみ
8/13	ダイアジノン水和剤	1000	4号園のみ
"	コテツフロアブル	2000	4号園のみ
8/25	スミチオン水和剤	1000	ゴールドデンピーチのみ
12/12	マシン油乳剤95	20	

第4表 ブドウ（雨よけハウス）の薬剤防除履歴（平成20年）

月/日	薬品名	倍率等	備考
4/2	石灰硫黄合剤	7	
"	ベンレートT水和剤	200	
4/21	アプロードフロアブル	1000	
"	サンマイト水和剤	1500	
4/22	ラウンドアップハイロード	100	
5/2	ペンコゼブフロアブル	1000	
"	ゲッター水和剤	1500	
"	スタークル顆粒水溶剤	2000	
5/15	ロブラール水和剤	1500	
"	スプラサイド水和剤	1500	
5/30	スイッチ顆粒水和剤	3000	
"	オルトラン水和剤	1500	
6/16	スプラサイド水和剤	1500	
"	バロックフロアブル	2000	
6/24	ストロビードライフフロアブル	3000	
"	スカウトフロアブル	2000	
6/30 ,7/1 ,2 ,3	ストロビードライフフロアブル	3000	
"	コテツフロアブル	2000	
7/31 ,8/6 ,12	ICボルドー66D	50	
"	スミチオン水和剤	1000	一部のみ
8/12	マイトコーネフロアブル	1000	一部のみ
10/10 ,11/14 ,12/10 ,17	ICボルドー66D	50	
"	スミチオン水和剤	1000	

第5表 ブドウ(ガラス室)の薬剤防除履歴(2月加温栽培)(平成20年)

月/日	薬品名	倍率等	備考
1/22	オマイト水和剤	1000	
3/11	ラウンドアップハイロード	100	
3/28	ポリベリン水和剤	1000	
"	スタークル顆粒水溶剤	1000	
4/23	ストロビードライフフロアブル	3000	
"	スカウトフロアブル	2000	
5/7	バスタ液剤	100	
5/15,6/5	インダーフロアブル	8000	
"	コテツフロアブル	2000	
6/18	アドマイヤー顆粒水和剤	10000	
"	カネマイトフロアブル	1500	
8/14	ジェットVP	100g	

第6表 ブドウ(ガラス室)の薬剤防除履歴(無加温栽培)(平成20年)

月/日	薬品名	倍率等	備考
3/7	石灰硫黄合剤	7	
"	ベンレートT水和剤	200	
3/31	オマイト水和剤	1000	
"	スプラサイド水和剤	1500	
4/28	オーシャイン水和剤	2000	
"	アプロード水和剤	3000	
5/7	バスタ液剤	100	
5/15	ポリベリン水和剤	1000	
"	スタークル顆粒水溶剤	1000	
5/29	スプラサイド水和剤	1500	
"	カンタスドライフロアブル	1500	
6/19	ストロビードライフフロアブル	3000	
"	コテツフロアブル	2000	
7/2	インダーフロアブル	8000	
"	アドマイヤー顆粒水和剤	10000	
7/10	カネマイトフロアブル	1500	
7/29	エスマルクドライフロアブル	2000	
8/7	ロディー燻煙顆粒	900g	大温室のみ
8/18	ラウンドアップハイロード	100	一部のみ
8/22	ジェットVP	800g	大温室のみ
10/23	フルピカ燻煙剤	250g	大温室のみ
11/7	フルピカ燻煙剤	250g	大温室のみ

第7表 ブドウの植物成長調節剤使用履歴（平成20年）

月/日	品 種 名	薬品名・濃度
5/2	デラウェア	ジベレリン100ppm+フルメット3ppm
5/23	サニールージュ	ジベレリン16.6ppm
5/24	安芸クイーン	ジベレリン12.5ppm+フルメット1.25ppm
5/26	巨峰，オーロラブラック	ジベレリン12.5ppm+フルメット1.25ppm
"	ハニーシードレス	ジベレリン100ppm
5/29	藤稔，ピオーネ，ゴルビー，翠峰	ジベレリン12.5ppm+フルメット1ppm
"	デラウェア，アーリー・スチューベン	ジベレリン100ppm
6/2	安芸クイーン，サニールージュ	ジベレリン25ppm
"	瀬戸ジャイアンツ	ジベレリン25ppm+フルメット2ppm
6/5	マスカット・ベリーA（1本以外）	ジベレリン100ppm+フルメット5ppm
"	ヒロハンプルグ	ジベレリン100ppm
6/6	巨峰，オーロラブラック	ジベレリン25ppm
6/9,10	ピオーネ	ジベレリン25ppm
6/10	ゴルビー，翠峰	ジベレリン25ppm
6/11	藤稔	ジベレリン25ppm
"	マスカット・ベリーA（1本のみ）	ジベレリン100ppm
6/12	瀬戸ジャイアンツ	ジベレリン25ppm

第8表 カキの薬剤防除履歴（平成20年）

月/日	薬 品 名	倍 率	備 考
3/11,12	ラウンドアップハイロード	100	
3/13	石灰硫黄合剤	7	
4/25	ベルコート水和剤	1500	
"	ジェイエース水和剤	1500	
6/6	ラビライト水和剤	800	
"	アーデント水和剤	1000	
6/25	ストロビードライフロアブル	3000	
"	スタークル顆粒水溶剤	2000	
7/8	オリオン水和剤	1000	2号園のみ
7/11	トリフミン水和剤	2000	西条のみ
9/4	トップジンM水和剤	1500	
"	ダントツ水溶剤	4000	
"	ノーモルト乳剤	2000	西村早生・西条以外
12/12	マシン油乳剤95	20	

第9表 キウイフルーツの薬剤防除および植物成長調節剤使用履歴（平成20年）

月/日	薬 品 名	倍率等
3/7	石灰硫黄合剤	7
3/21	ラウンドアップハイロード	100
6/10,17	フルメット液剤	5ppm
6/26	トップジンM水和剤	1000
"	パダンSG水溶剤	1500

第10表 リンゴの薬剤防除履歴（平成20年）

月/日	薬品名	倍率等	備考
3/6	ラウンドアップハイロード	100	
3/13	石灰硫黄合剤	7	
3/26	コンフューザーA	200本/7.5a	
4/23	パルノックス水和剤	600	
"	DDVP乳剤50	1000	
"	カーラフロアブル	2000	
5/8	ストロビードライフフロアブル	2000	
"	スタークル顆粒水溶剤	2000	
"	ラウンドアップハイロード	25	
5/16	フジオキシラン水和剤	500	
"	ロディー水和剤	1000	
6/16	スプラサイド水和剤	1500	
"	バロックフロアブル	2000	
7/8	バスタ液剤	100	
7/10	ダズバン水和剤	1000	
"	コテツフロアブル	2000	
7/11	ストッポール液剤	1000	つがるのみ
8/25	ストッポール液剤	1000	一部品種のみ
"	スミチオン水和剤	1000	一部品種のみ
"	ピラニカ水和剤	1000	一部品種のみ
9/12	ノーモルト乳剤	2000	
10/21	オリオン水和剤	1000	一部品種のみ
12/25	マシン油乳剤95	20	

第11表 ウメの薬剤防除履歴（平成20年）

月/日	薬品名	倍率
1/18	石灰硫黄合剤	7
4/21	ベルコート水和剤	2000
"	スタークル顆粒水溶剤	2000
5/8	ストロビードライフフロアブル	2000
"	スタークル顆粒水溶剤	2000
7/11	モスピラン水溶剤	2000
12/26	マシン油乳剤95	20

第12表 スモモの薬剤防除履歴（平成20年）

月/日	薬品名	倍率	備考
3/13	石灰硫黄合剤	7	
4/11	オリオン水和剤	1000	一部のみ
4/21	ベルコート水和剤	2000	
"	スタークル顆粒水溶剤	2000	
5/8	ストロビードライフフロアブル	2000	
"	スタークル顆粒水溶剤	2000	
7/10	モスピラン水溶剤	2000	
12/12	マシン油乳剤95	20	

第13表 その他の果樹の薬剤防除履歴（岡山農場）（平成20年）

月/日	果 樹 名	薬 品 名	倍 率
3/21	カンキツ	ラウンドアップハイロード	100
3/31	ビワ	ラウンドアップハイロード	100
4/23	セイヨウナシ	バルノックス水和剤	600
"	"	DDVP乳剤50	1000
5/8	アンズ, クルミ, プルーン, モモ苗木	ストロビードライフフロアブル	2000
"	"	スタークル顆粒水溶剤	2000
"	カンキツ	ラウンドアップハイロード	25
5/16	セイヨウナシ	フジオキシラン水和剤	500
"	"	ロディー水和剤	1000
7/9	カンキツ	ジマンダイセン水和剤	800
"	"	スプラサイド水和剤	1500
"	"	サンマイト水和剤	3000
7/10	セイヨウナシ	モスピラン水溶剤	2000
9/4	クルミ	トップジンM水和剤	1500
"	"	ダントツ水溶剤	4000
"	"	ノーモルト乳剤	2000
12/12	アンズ	マシン油乳剤95	20
12/26	セイヨウナシ, クルミ	マシン油乳剤95	20

第14表 カンキツ類の薬剤防除履歴（本島農場）（平成20年）

月/日	薬 品 名	倍 率
4/8,9,11,14	ミカノール	70
5/12,13,15,16	ロブラール水和剤	1500
"	アルバリン顆粒水溶剤	1000
6/26,27,30,7/1	サンフーロン液剤	100
7/14,15,16,24	ジマンダイセン水和剤	800
"	スプラサイド水和剤	1500
"	サンマイト水和剤	3000
10/15,16,17	サンフーロン液剤	100



## (4) 畜産部門

### 1) 津高牧場

平成20年における和牛の飼育移動状況を第1表に示した。子牛生産総数は36頭で、雌子牛が19頭で雄子牛が17頭であった。繁殖牛の事故は早・死産が4件であった。本年の販売総数は36頭で、そのうち子牛が34頭で肥育牛が2頭であった。

繁殖牛の人工授精と受精卵移植成績を第2表に示した。人工授精により48頭が受胎し、津高牧場を開設して以来、最大の授精記録となった。この結果は、本年より導入した繁殖・健康・管理システム『牛歩』と、現場における牛の発情行動の観察技術の向上による相乗効果もたらしたと考える。今後も発情牛の観察と繁殖牛の飼養管理に配慮しながら、1頭でも多くの牛を受胎させるような技術改善に努めたい。

子牛の販売成績を第3表に示した。出荷総数は34頭で、去勢牛が16頭で雌牛が18頭であった。前年と比較して、出荷時における日齢は去勢で13日、雌で3日短くなり、体重は去勢で2kg減少し雌で10kg増加したものの、価格は安値となった。

本年の8月から、岡山県家畜市場の子牛セリ市で

「岡山和牛推奨子牛」の表示販売が実施された。この表示内容は「出荷日齢」、「体高」、「腹囲と胸囲の差」、「著しい瑕疵・損傷のないこと」の4項目からなる。これらの項目の基準を全て満たした子牛が、「おかやま四つ星子牛」として認定され、表示販売が可能となる。今回、当牧場で出荷した去勢牛1頭が「おかやま四つ星子牛」として認定を受け、販売された。次年度以降も、市場で当牧場産子牛が「おかやま四つ星子牛」の認定を受け、販売出来るように努力目標を設定し、子牛に関する飼養管理技術の改善を図りたい。昨年同様、本年も子牛にコクシジユウム症やウイルス性による下痢の発生はなかった。これからも子牛の下痢発生予防プログラムの実施を徹底し、下痢の発生を抑える飼育環境を整備したい。万が一、下痢が発生した場合には早期に発件し、早期に治療出来る体制を強化したい。

雌牛の枝肉販売成績を第4表に示した。昨年に続き本年も、繁殖において問題が生じた雌牛2頭を肥育して出荷した。

第1表 平成20年における和牛の飼育移動状況

		雌				雄			合計	
		子牛	育成牛	繁殖牛	肥育牛	子牛	育成牛	肥育牛		
	20.01.01現在	16	3	42	3	12	0	0	76	
期間 移動	増	生産	10	-	-	-	8	-	-	18
		振替	-	1	3	2	-	-	-	6
	減	振替	1	3	2	-	-	-	-	6
		へい死	-	-	-	1	-	-	-	1
		売却	10	-	-	2	10	-	-	22
	20.06.01現在	15	1	43	2	10	0	0	71	
期間 移動	増	生産	9	-	-	-	9	-	-	18
		振替	-	2	1	-	-	-	-	3
	減	振替	2	1	-	-	-	-	-	3
		へい死	1	-	-	-	-	-	-	1
		売却	8	-	-	-	6	-	-	14
	21.12.31現在	13	2	44	2	13	0	0	74	

第2表 平成20年における繁殖牛の人工授精・受精卵移植成績(20.1.1~20.12.31)

	実施 頭数	受胎 頭数	受胎率 (%)	授精回数							
				1		2		3		4回以上	
				受胎	不受胎	受胎	不受胎	受胎	不受胎	受胎	不受胎
人工授精	54	48	88.8	30	2	13	2	4	1	1	1
受精卵移植	1	0	0	0	1	-	-	-	-	-	-

第3表 平成20年における子牛の販売成績

販売 年月日	耳標 番号	生年月日	性別	生後 日齢 (日)	体重 (kg)	日齢 体重 (kg/日)	落札 価格 (千円)	kg当り 単価 (円)	母牛 番号	父牛 名号
20.01.18	R954	19.04.09	雌	284	264	0.930	307	1,163	Y200	第6栄
	R956	19.04.15	雌	278	247	0.888	302	1,223	Y224	勝福茂
	R957	19.04.19	雌	274	236	1.861	308	1,305	Y216	茂勝栄
	R958	19.04.21	雌	272	283	1.040	378	1,336	Y237	北湖2
	R959	19.05.08	去	255	269	1.055	452	1,680	Y233	利花
20.02.15	R962	19.06.12	雌	248	248	1.000	352	1,419	Y212	第5北盛
	R963	19.06.19	去	241	291	1.207	472	1,622	Y209	安福勝
20.03.14	R960	19.06.08	雌	280	262	0.936	312	1,191	Y226	第5北盛
	R961	19.06.10	去	278	263	0.946	397	1,510	Y214	谷福長
	R964	19.06.27	去	261	274	1.050	437	1,595	Y225	安福勝
20.04.18	R965	19.07.06	去	287	274	0.995	360	1,314	Y187	国桜
	R966	19.08.02	去	260	291	1.119	495	1,701	Y203	鶴長
	R967	19.08.05	雌	257	277	1.078	326	1,177	Y215	第5北盛
	R968	19.08.05	雌	257	249	0.969	290	1,165	Y199	北仁
	R970	19.08.11	去	251	287	1.143	472	1,645	Y227	第5北盛
	R971	19.08.14	去	248	258	1.040	454	1,760	ET	福栄
	R972	19.08.17	去	245	279	1.139	422	1,513	Y234	亀勝
20.05.23	R973	19.08.17	雌	280	282	1.007	281	0,996	Y191	鶴長
	R974	19.08.17	去	280	293	1.046	471	1,608	Y241	亀勝
20.06.27	R977	19.10.12	雌	259	274	1.058	285	1,140	Y223	第5北盛
20.08.01	R979	19.10.31	雌	275	260	0.945	350	1,346	Y213	第5北盛
	R981	19.11.28	去	247	311	1.259	508	1,633	Y210	北仁
	R982	19.12.09	去	236	287	1.216	454	1,582	Y220	第5北盛
20.09.05	R978	19.10.16	雌	325	243	0.748	276	1,136	Y240	西花8
	R980	19.11.14	雌	296	270	0.912	302	1,119	Y235	西花8
	R983	20.01.20	雌	229	262	1.144	385	1,469	Y230	勝福栄
20.10.17	R985	20.02.05	去	255	275	1.078	368	1,338	Y228	勝福栄
	R986	20.03.04	去	227	264	1.163	400	1,515	Y208	北湖2
20.11.21	R987	20.03.09	去	257	254	1.988	321	1,264	Y221	亀勝
	R988	20.03.11	雌	255	249	0.976	261	1,048	Y236	西花8
	R991	20.03.27	去	239	270	1.130	350	1,296	Y216	勝福茂

20.12.19	R989	20.03.14	雌	280	259	0.925	300	1,158	Y200	西花 8
	R990	20.03.23	雌	271	239	0.882	229	0,958	Y217	第 5 北盛
	R992	20.04.25	雌	238	270	1.134	342	1,267	Y239	勝福茂
平均			全頭	34	262	268	1.023	365	1,363	
			去勢	16	254	278	1.094	442	1,539	
			雌	18	270	260	0.963	310	1,195	

第 4 表 平成20年における雌牛の枝肉販売成績

と 殺 年月日	耳 標 番号	性 別	水 引 枝 肉 重 量 (kg)	枝 肉 規 格	枝 肉 単 価 (円/kg)	売 金 (円)	上 額
20.01.11	Y193	雌	360.0	B-1	500	180,000	
20.05.25	Y196	雌	449.2	C-2	650	291,980	

## 2) 草地生産

平成20年における飼料作物の生産量を第 1 表に示した。採草地における飼料作物の青草換算による収量は416,340kgであり、10a当たり平均収量は8,069kgであった。採草地と放牧草地との収量を合わせた総収量は605,900kgとなった。利用形態別による収量割合は、青刈りで20.0%，乾草で13.0%，サイレージで35.7%，放牧で31.3%となった。

乾草調製用の材料草として、E号とK3号草地からイタリアンライグラス、スーダングラス、D2号とK2号草地からイタリアンライグラスを収穫した。平成19年に比べ、本年の乾草収量は生草換算で31,350kgの増収となった。増収の要因は、新規にモアコンディショナーやジャイロテッター、そして、ジャイロレーキの導入により作業時間が短縮され効率化され、収穫時のロスが少なくなったためと思われる。

サイレージ調製用の材料として、A号草地から混播したトウモロコシとソルゴーを、D2号とK1号草

地からトウモロコシ、A号とK2号草地からソルゴーを収穫した。前年に比べ、サイレージ調製による収量（生草換算）は216,160kgとなり、約 2 倍の増収となった。本年もイノシシによる食害があったが、圃場周辺に電気牧柵を設置することで、最低限の被害に止めることができた。

本年も、トウモロコシとソルゴーの作付け草地に強外雑草のイチビが発生した。しかし、薬剤処理を行ったことで、昨年のようにイチビの大量発生を予防できた。今後も適期に薬剤処理技術を粗飼料生産システムに組み入れて、雑草の発生を予防し、少しでも多くの牧草の収穫が得られるようにしたい。

放牧草地ではオナモミ、ワルナスビ、イグサ、セイタカアワダチソウなどの雑草がみられ、学生実習等で除草作業を行った。しかし、ワルナスビの繁殖が著しく、次年度以降も継続して除草作業を行う予定である。

第1表 平成20年における飼料作物の生産量

草地	面積 (a)	作物	利用形態別収量 (kg)				放牧 延頭数	生草換算 収量(kg)	草地当り収量(kg)	
			青刈	乾草	サイレージ	放牧			生草合計 収量	10a当り 平均収量
A	100	トウモロコシ+ソルゴー	7,970		23,740		55,450	88,690	8,869	
		ソルゴー	3,660		14,790		33,240			
D2	130	イタリアンライグラス	12,180	5,510			39,730	111,310	8,562	
		トウモロコシ	11,220		30,180		71,580			
E	76	イタリアンライグラス	6,570	2,550			19,320	62,120	8,174	
		スーダングラス	18,440	2,520			31,040			
		エンバク+イタリアンライグラス	11,760				11,760			
K1	90	エンバク	9,750				9,750	64,040	7,116	
		トウモロコシ	6,810		23,740		54,290			
K2	60	イタリアンライグラス	8,380	1,810			17,430	55,850	9,308	
		ソルゴー	7,160		15,630		38,420			
K3	40	イタリアンライグラス	4,910	1,170			10,760	34,330	8,583	
		スーダングラス	12,870	2,140			23,570			
計	496		121,680	15,700	108,080		416,340	416,340	8,394	
B	65	混播牧草				20,720	518	20,720	20,720	3,188
C	120	混播牧草				36,440	911	36,440	36,440	3,037
D1	20	混播牧草				1,760	44	1,760	1,760	880
F	104	混播牧草				31,400	785	31,400	31,400	3,019
G	112	混播牧草				32,520	813	32,520	32,520	2,904
H	47	混播牧草				10,600	265	10,600	10,600	2,255
I	185	混播牧草				56,120	1,403	56,120	56,120	3,034
計	653					189,560	4,739	189,560	189,560	2,903
合計	1149		121,680	15,700	108,080	189,560	4,739	605,900	605,900	5,273

利用形態別における生草換算収量 (kg)

青刈	乾草	サイレージ	放牧	合計
121,680	78,500	216,160	189,560	605,900

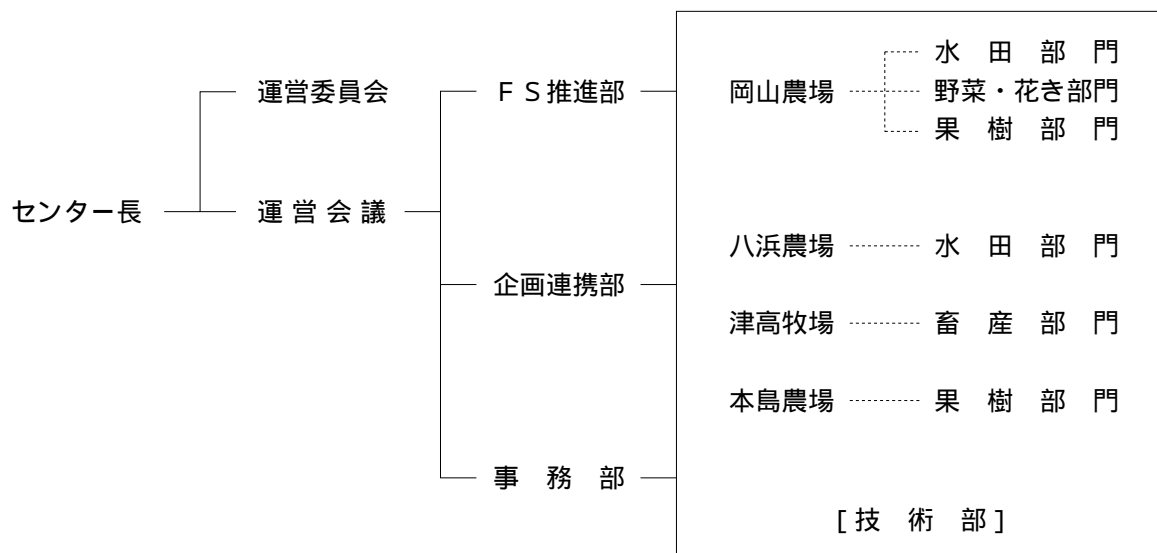
\* サイレージの生草換算は、草地によって(トウモロコシ+ソルゴーの収穫量)×2  
トウモロコシの収穫量×2, ソルゴーの収穫量×2

\* 乾草の生草換算は、牧草の収穫量×5

## 2. 事務部

### (1) 組織

#### 1) 機構



#### 2) 教職員数

平成20年4月1日現在

区分	教育職員(一)	一般職員(一) 技術・事務職員	計	平成20年4月1日現在		備考
				非常勤職員	合計	
センター長	1		1		1	教授
主事	1		1		1	教授
教授	1		1		1	
准教授	1		1		1	
助教	1		1		1	
班長		1	1		1	
副班長		1	1		1	
主任		3	3		3	
技術職員		3	3		3	
事務室長		1	1		1	
専門職員		1	1		1	
計	5	10	15		15	
事務補佐員				2	2	
技能補佐員				4	4	
技術補佐員				5	5	
臨時用務員				1	1	
計				12	12	
合計	5	10	15	12	27	

### 3) 技術部部門別職員数

部 門	平成20年 4月 1日現在		
	技術職員	非常勤職員	合 計
水田	1	1	2
野菜・花き	3	4	7
果樹	2	2	4
畜産	2	1	3
その他		2	2
合 計	8	10	18

## ( 2 ) 予算及び収入

### 1) 予 算 ( 振替 , 事項指定等特殊な予算は除く )

事 項	金 額 ( 円 )
センター経費	42,913,150
事務室経費	132,700
業務委託費	889,350
本島農場経費	1,687,900
半田山自然教育 研究林経費	3,375,900
合 計	48,999,000

### 2) 収 入

平成20年度					( 円 )
区 分	野菜・花き	汎用耕地	果樹部門	山地畜産	合 計
果 菜 類	4,515,564	-	-	-	4,515,564
葉 菜 類	3,260,282	-	-	-	3,260,282
根 菜 類	1,136,772	-	-	-	1,136,772
花 卉 類	783,937	-	-	-	783,937
甘 しょ 類	892,067	-	-	-	892,067
果 樹	-	-	9,763,334	-	9,763,334
米	-	13,009,400	-	-	13,009,400
牛	-	-	-	11,729,678	11,729,678
合 計	10,588,622	13,009,400	9,763,334	11,729,678	45,091,034

## ( 3 ) 土地 , 建物面積

### 1) 土 地

農場等名	面 積 ( m <sup>2</sup> )	所 在 地
岡山農場	91,992	岡山市北区津島桑の木町 1 - 62
八浜農場	89,568	玉野市八浜大崎1771
本島農場	22,161	香川県丸亀市本島町泊
津高牧場	312,484	岡山市北区日応寺
合 計	516,205	

## (4) 備品類及び営繕工事

### 1) 備品類 (1件50万円以上)

平成20年度

備品類名	数量(式)	金額(円)
津高牧場 クーン社製モアコンディショナー	1	2,467,500
岡山農場 乗用管理機グッディーライダー	1	2,550,000
岡山農場 ビニールハウス用パイプハウス資材	1	765,450

### 2) 営繕工事 (1件50万円以上)

平成20年度

工事名	数量(式)	金額(円)
津高牧場バースクレイパーチェーン修理	1	560,448

## (5) 会議開催状況

### 1) 運営委員会

開催なし。

### 2) 運営会議

開催月日	協議事項	報告事項
20. 4. 2	1. 平成20年度ワーキンググループ一覧について 2. 平成20年度全国大学附属農場協議会春季全国協議会について 3. 特別支援学校職場体験学習について	1. 平成20年度センター実習について 2. 平成20年度公開講座について 3. センターのホームページの更新について 4. 平成19年度備品類整備状況について 5. フィールド科学センター利用申込状況について 6. 技術部会議等について 7. 生産物の販売について 平成19年度販売実績額について
20. 5. 2	1. 平成20年度中国・四国地域大学附属農場協議会について 2. 監査法人による監査の対応について 3. 津高牧場宿泊施設の改善について 4. 夏季一斉休業制度への対応について 5. 特別支援学校職場体験学習(実習)について	1. 平成20年度センター実習について 2. 平成20年度公開講座について 3. 平成20年度Jr.サイエンス事業について 4. センターHPの更新について 5. フィールド科学センター作目コードWG報告について

開催月日	協議事項	報告事項
20. 5. 2		<ul style="list-style-type: none"> <li>6. 技術部会議等について</li> <li>7. 生産物の販売について</li> <li>8. 学長裁量経費の要求について</li> <li>9. フィールド科学センター利用 申込状況について</li> </ul>
20. 6. 4	1. 非常勤職員の勤務時間等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 特別支援学校職場体験学習について</li> <li>2. 平成20年度全国大学附属農場 協議会春季全国協議会について</li> <li>3. 津高牧場管理棟防水工事改修 について</li> <li>4. 生産物の販売について</li> <li>5. フィールド科学センター利用 申込状況について</li> <li>6. 技術部会議等について</li> </ul>
20. 7. 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 平成20年度センター予算配分について</li> <li>2. 平成20年度全国大学附属農場協議会秋季協 議会について</li> <li>3. 劇毒物の管理等について</li> <li>4. 8月の運営会議開催について</li> <li>5. 技術職員のライセンス取得について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 安全運転管理者講習会につい て</li> <li>2. 夏季集中実習について</li> <li>3. 公開シンポジウムについて</li> <li>4. センター報告第30号について</li> <li>5. フィールド科学センター利用 申込状況について</li> <li>6. 販売所休業について</li> <li>7. 技術部会議等について</li> <li>8. 号館建物内無人販売所設置 について</li> <li>9. 生産物の販売について</li> </ul>
20. 8. 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 平成20年度当初予算配分について</li> <li>2. 学部長裁量経費による機器整備について</li> <li>3. 農学部公開シンポジウムについて</li> <li>4. 平成20年度全国大学附属農場協議会秋季協 議会承合事項について</li> <li>5. 農学部の各種化学薬品調査等の依頼につい て</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 平成20年度中国・四国地域大 学附属農場協議会について</li> <li>2. 夏季集中実習について</li> <li>3. フィールド科学センター利用 申込状況について</li> <li>4. 半田山自然教育研究林の使用 届出について</li> <li>5. 技術部会議等について</li> <li>6. 生産物の販売について</li> </ul>
20. 9. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 平成19年度決算について</li> <li>2. 農学部公開シンポジウムについて</li> <li>3. Jr.サイエンスの申込状況について</li> <li>4. 「エコロジーフェア」の参加について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 夏季集中実習について</li> <li>2. 津高牧場畜魂祭について</li> <li>3. センター報告第30号の訂正に ついて</li> </ul>



開催月日	協議事項	報告事項
20. 9. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>5. 大丸百貨店梅田店への出店について</li> <li>6. 特別支援学校後期現場実習について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4. 半田山自然教育研究林使用届出について</li> <li>5. 技術部会議等について</li> <li>6. 生産物の販売について</li> </ul>
20.10. 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1農場1アピールについて</li> <li>2. 農学部公開シンポジウムについて</li> <li>3. Jr.サイエンス公開講座の再募集について</li> <li>4. センター報告第31号について</li> <li>5. 学部長裁量経費の使途について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 夏季集中実習について</li> <li>2. 無人販売所設置について</li> <li>3. 「エコロジーフェア」の参加内容について</li> <li>4. 大丸百貨店梅田店への出店について</li> <li>5. 特別支援学校後期現場実習について</li> <li>6. 岡山市北消防署危険物査察結果について</li> <li>7. 津高牧場水質検査結果について</li> <li>8. 技術部会議等について</li> <li>9. フィールド科学センター利用申込状況について</li> <li>10. 生産物の販売について</li> </ul>
20.11. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 平成21年度非常勤職員の採用計画について</li> <li>2. 管理機更新の仕様について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 農学部公開シンポジウムについて</li> <li>2. 「エコロジーフェア」について</li> <li>3. 収穫祭について</li> <li>4. Jr.サイエンス公開講座の修了証書の発行について</li> <li>5. 特別支援学校後期現場実習について</li> <li>6. 技術部会議等について</li> <li>7. フィールド科学センター利用申込状況について</li> <li>8. 生産物の販売について</li> </ul>
20.12. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 平成21年度作付計画について</li> <li>2. 予算執行見込について</li> <li>3. 平成21年度センター開講の公開講座について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. Jr.サイエンス公開講座アンケート結果について</li> <li>2. 学長裁量経費計画書の申請について</li> <li>3. フィールド科学センター利用申込状況について</li> <li>4. 技術部会議等について</li> <li>5. 生産物の販売について</li> </ul>

開催月日	協議事項	報告事項
21. 1. 7	1. 平成21年度作付計画(案)について 2. 予算執行見込について 3. センター報告第31号の依頼について 4. 全国大学農場年報第41号原稿依頼について	1. フィールド科学センター利用 申込状況について 2. 技術部会議等について 3. 生産物の販売について 4. 施設パトロールについて
21. 2. 4	1. 予算執行見込について 2. 平成21年度センター併任教員について 3. 平成21年度センター専任教員のコースへの 併任について 4. センター選出委員について 5. 平成21年度センター実習(案)について 6. 附属山陽圏フィールド科学センター講演会 について 7. 技術部技術職員体験発表会について(3 / 13) 8. 天満屋への平成21年度出店更新について	1. 電気設備保安点検の実施につ いて 2. 平成21年度非常勤職員の更新 及び雇用条件の変更について 3. フィールド科学センター利用 申込状況について 4. 技術部会議等について 5. 生産物の販売について
21. 3. 4	1. 平成21年度実習実施要項(案)について 2. 農家体験実習・地域農業技術論の担当につ いて 3. 農業技術大系2009年度版追録購入の継続に ついて 4. グッドジョブ支援センターの業務等につい て	1. センター講演会及び技術部技 術職員体験発表会について (3 / 13) 2. 平成21年度公開講座について 3. センター報告第31号について 4. 部門別・年度別2月末現在の 収入状況について 5. ユニセフ岡山県支部チャリ ティバザー委託販売について 6. フィールド科学センター利用 申込状況について 7. 技術部会議等について

## ( 6 ) 施設開放の状況

施設利用目的, 時期	施設利用者名	期 間	団 体 数 等	参加人数
野外活動 ( 4月9日～25日 )	あゆみ保育園	7日	1団体	保育士 3名 保育園児 36名
生活科学学習 ( 5月30日 )	津島小学校	1日	1団体	引率保護者 3名 小学生 13名
社会科学学習 ( 6月19日, 10月28日 )	津島小学校	2日	1団体	教諭 4名 引率保護者 4名 小学生 138名
Jr. サイエンス ( 10月11日, 11月8日, 11月15日 )		3日	1団体	小学生 10名
総合学習	岡北中学校	1日	1団体	教諭 1名 小学生 5名
職場体験 ( 5月16日～6月6日 7月11日 )	教育学部附属 特別支援学校	7日	1団体	教員 3名 高等部生徒 7名
仕事体験学習 ( 11月4日～7日 )	教育学部附属 特別支援学校	1日	1団体	教員 7名 高等部生徒 10名
他学部講義 ( 11月11日 )	環境理工学部	1日	1団体	学生 46名 院生 3名
公開講座 ( 4月17日～9月10日 )	一般市民	13日	42家族	42名
いもほり ( 10月2日～10月29日 )	内訳	各1日	35団体 ( 3,720株 )	2,880名
	保育園		9団体 ( 979株 )	652名
	幼稚園		10団体 ( 1,675株 )	1,182名
	小学校		2団体 ( 457株 )	366名
	親子クラブ		12団体 ( 429株 )	605名
	その他		2団体 ( 180株 )	75名